

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

185号



2016年11月30日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 落下物は実は多かった！

東京新聞（10月27日）や読売新聞（11月16日）によれば、航空機からの落下物は、国内線で2009年度以降の8年間で437件確認されていたとわかりました。

従来国交省は「過去10年間の発生件数は、成田空港周辺では18件（部品13件、氷塊5件）、羽田空港周辺では0件」と説明していましたが、こうなるとデータそのものが信じられなくなります。落下物も最大重量1,8kgと航空局長が説明していましたが、実はその10倍の12kgだったことがわかり訂正しました。

12kgの落下物はエアコンのパネルだったそうで、上空から人や物に当たれば当然大きな事故となりますが、基本的に落とした航空会社が補償することになります。しかし、氷塊の場合、1時間44便ものどの飛行機が落としたのか、特定などできません。いくら安全と国交省が保証しても、事故は現実起きています。

○ 署名の報告

11月25日現在2200筆を超えています。大々的に運動を展開しているわけではありませんが、着実に賛同者は増えています。

○ チラシ配布

今回ニュースと同時に都心低空飛行問題についてのチラシ（羽田増便を考える会作製）を配布します。 — なお、このチラシでは進入の高さを分かり易くするため、航路を1直線で示していますが、実際は赤羽の方から小豆沢・常盤台・大谷口の真上を通ります —

○ 図書館跡地についての意見交換会

11月27日（日）14時～16時、常盤台中央図書館視聴覚室で意見交換会がありました。まず荒井図書館長と千田推進係長から、平和公園での進捗状況を説明して貰いました。その後1時間ほどフリートークで、跡地をどうするかについて出席者全員が意見を述べ合いました。

参加できなかった人から託された希望は、圧倒的に「小規模でも図書館を残すこと」でした。次に多かったのは、「地域センターは要らない」という意見でした。現在の地域センターを利用している人たちからも不便になるので移転に反対という意見も聞かれるようです。

今回参加者が少なかったのと、跡地利用については進展がないとの理由で、次回の話し合いは図書館側は若干後ろ向きでしたが、継続的に行うことは確認されました。

次回は1月か2月です

希望を容れてほしい時は行動で示さねばなりません。特に頑固な公的機関が頭から決めてきそうな場合は、陰でぶつぶつ文句を言っているだけではだめでしょう。次回の多数のご参加を期待しています。

○ ときわ台駅の駅舎保存とエレベーター設置

北口のエレベーター設置は、平成31年までに向かって右側に竣工する。

駅舎は大谷石造りの元の形にできる限り近いかたちで残す。ただし、板橋区や常盤台の景観を守る会が提案する文化財としての指定は受けないで活用する。

交番側の店舗は5階建てに改築し、1、2階を店舗とする。

ということです。立体化についてはまだ検討中。

Kさん夫妻の死

悲しいことで常盤台が新聞記事になりました。朝日新聞十一月二十一日の片隅に小さな記事が載りましたが、二十三日には東京版に「仲良し夫婦 最期まで」という見出しで、Kさん夫妻の死が詳しく大きく報じられました。九十七歳と九十三歳だったそうです。奥さんは近所のお友達が亡くなったあと、寂しそうで、めつきり弱られたように感じられました。お連れ合いと本当に仲良く、ほとんど同時に亡くなったようで、それはお幸せな最期と言えるかもしれません。

ハクビシン出没

タヌキは常盤台から引越したようです。ハクビシンの方は相変わらず出没しています。夕方になると活動し始めるようです。電線の上を器用に渡っていく所を見ました。猫もできない芸当で、すぐハクビシンとわかりました。近くに寄っても驚きもせず、振り返った顔は猫より細長く、鼻先にかけて真っ直ぐの白い筋がありました。夜、飼い犬がやたらに吠えていたらハクビシンが近くにいます、と思っ間違いないでしょう。

不審者にご注意

用もないのにじっと様子をうかがっている人がいるので、警察に届けたが、取り合ってくれなかったという声がありました。近所同志で気をつけ合うしかないようです。

大丈夫なの？オリピック騒ぎ(4)

* 不透明な会計

IOC・森元首相(組織委員会)・小池都知事・丸山五輪担当相(政府)の四者協議が行われ、問題の多い東京オリピックの会場について、現時点での決定を見た。

そもそも招致の時のうたい文句は、エコなものを目指し、東日本震災からの復興を世界に示したいというものだったはず。その通りに実行すればよいものを、本当の下心が現れて、オリピックの美名の陰に隠れて、できるだけ税金を出させて儲けようという人たちが、調子に乗って予算を膨れあがらせたのではないか。

批判されると急に何十億、何百億という金額が訂正される。それだけ不必要な経費が見込まれていたわけだ。そのからくりを是非とも明らかにしてもらいたい。

カジノ解禁は誰が？

以前から出ては引越込んでいたカジノを日本に解禁しようという法案がまた国会にかけられています。いったいどんな議員たちがこの愚かな提案に賛成するのか、注目していなければなりません。

◎ 名前の訂正

前号で秀島一生さんの勉強会に参加された議員さんの中で、荒川議員のお名前を誤記してしまいました。正しくは荒川なおさんです。お詫びして訂正します。

常盤台公園のはなづくり

十一月十一日が植え付けの予定日だったので、あいにく朝から雨で、翌日の午後に延期しました。十年ほどの活動の中で、雨で延期は初めてのことでした。土曜の植え付けには二人の女性が助っ人で来てくださり、かわいい配色でストックとビオラなどが植えられました。ストックはグラデーションを考えられたようです。チューリップの方は色が見えないので四月ごろのお楽しみ。

二十四日にはなんと大雪が降り、せっかく植えた公園の草花も寒さに震え上がってしまったのではないのでしょうか。

落ち葉の季節になると下ばかり見て歩くようになってしまいます。赤や黄色のサクラやカエデの葉を、つい拾い集めたくくなります。夕焼け色のきれいなこと！

芝生はまだ青い葉が残っていますが、そのうち茶色に枯れるでしょう。その中でまだカタバミの類の雑草が所々に生えているのですが、夏には頑張っていて抜きにくかったものが、やすやすと引き抜けるようになっていくのに気がつきました。地中の根も寒さに向かい弱っているのだと思います。人間もこうして抵抗力が失せていくのかもしれない。